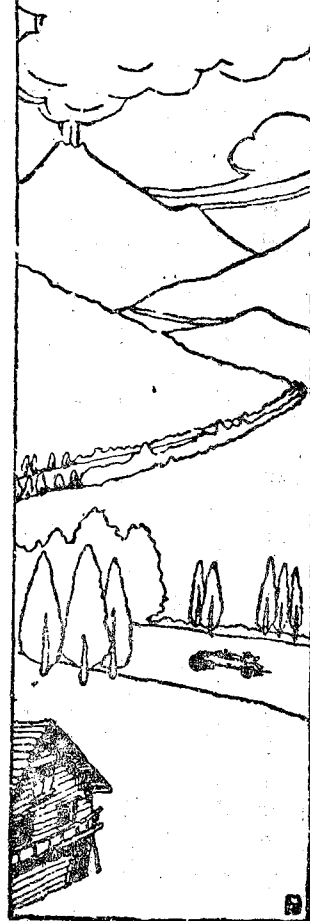


# 論 說

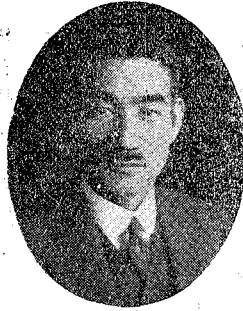


## ○小運送と道路政策

荷物にも物を言はしたい!!

内國通運  
株式會社社長

中野金次郎



道路(街路)の問題は吾々運送業には最も深い關係を有つて居る國家の經濟上の見地から考へても、此の道路を利用する方の意見を加味されて道路政策を執られるといふことは、道路政策の根本義であらうと思ふ。然るに從來の道路政策は交通の上に於いて人の問題に就ては相當に考慮されて居るが、常に多く道路を利用して居る荷物所謂小運送の問題に就ては聯絡が取れて居ない嫌ひのあつたことを

甚だ遺憾に考へる。

といふのは道路を築造する、其の道路を成るべく壞はされぬといふ事から來て居ると思ふが、或る點に於ては道路は使用する爲めのものである以上、路面の壞はれるといふのは當然のこと、其の壞はす物に對しては相當の負擔をさせてある、即ち自動車、荷馬車、手車、斯ういふ物に對しては道路の爲めに現在相當の負擔をして居る。これは以上舉げた運搬具といふものは、國家經濟の上に非常な大きな働きをして居るのであるからして、是等の進歩發達をはかり、所謂小運送を完全に行ひたいものである。

然るに從來動もすれば是等の能力を減殺するやうな政策を執られる。或は荷馬車の積載量を減すとか、或は荷馬車の車輪の幅を廣くして、さうして牽引力を減殺するやうなことは、其の道路を築造する方の費用、路面を維持する方の費用と、運搬能力を減殺する方の負擔増加の問題と、經濟上どういふことになるかといふ事を研究して始めて道路政策を立てたら宜からうと思はれるが、或は從來斯ういふ方面の研究は缺けて居つたのではないかと思ふ。茲に東京市に就いて言つても、荷馬車の車輪の幅は現在の二寸のものを三寸にしなければならぬことになつて居る、確か大正十五年までの期限になつて居ると思ふ。併し此の車輪の幅を一寸廣くする爲めに荷馬車は非常に牽引力を減殺することになる、さう廣くした結果が路面に如何なる好影響を來すものであるか、それだけ運搬經濟上の不利益な政策を執つて、道路の路面に如何なる結果を來すものであらうか。今日の路面は、モウ既に自動車が壞はして居る、荷馬車が壞はすまでは待たない、既に自動車が壞はした道路を車が歩いて、非常に迷惑をして居るのである、それにも拘らず荷馬車の車輪の幅員を強いて廣くするなどといふは、道路政策上甚だ矛盾

ではないかと思ふ。唯だ路面を壊はさんといふ事だけ徹底して居れば宜いが、一方には既に自動車には路面を壊はされて居つて荷馬車だけ斯う制限されるといふのは不徹底ではなからうか。

凡そ道路に關して之れを通行する人の意見苦情といふものは随分多くあること、思ふが物を言ふ人の苦情よりも物を言はない荷物、これは吾々の衣食住に日常缺くべからざる物資、これが多く道路を利用して居るのであるから、これ等の荷物は道路に對して如何なる希望を有つて居るかといふ事、換言すれば小運送と道路とは如何なる關係があるかといふことを研究して、さうして道路政策を立てるか最も必要であらうと思ふ。

我國では由來大運送である鐵道、軌道、これに重きを措き過ぎて、一般の道路、街路は非常に廢類して居るといふ現狀である、それで此の貨物自動車であるとか荷馬車であるとかいふ運搬具が出来ても、其の道路、街路の不完全な爲めに經濟的に之れを利用することが出来ない、歩道が悪いと言つて種々の苦情もあるが、これは經濟上の問題と言ふよりは寧ろ感情の問題であるが、吾々市民に日常缺くべからざる百貨の小運送、これが完全に輸送されること、なれば随つて物資は安く供給が出来、道路改良會は折角この方面にも一つ注意を拂つて、道路政策の改善を希望したい。

假りに一例を東京市に取つて見れば、汐留、秋葉原等の貨物停車場などでも、汐留の道路の如きは一雨降れば一週間ぐらゐる泥濘膝を没するの狀態にある、これ等は最も甚しい實例であるが、早く之れを改善して小運送を容易く出来るやうにすれば、隨つて運賃が安くなる、運賃が安くなれば荷主の負擔が軽くなつて物價が安くなり、自から個人經濟の上に好影響を來たして市民の生活が樂になる。併し小運送

に就ては未だ一般の自覺が無いから、斯ういふ議論をすると運送店が自己の利益の爲めに謂ふが如くに解されるが、決してさうではない、公共的事柄であつて運送賃が安くなれば延いて物價が安くなり個人經濟を容易ならしむるものである。先達て或る識者が、近來どうも貨物自動車や荷馬車が多くなつて道路を悪くして不快で困まる、何とか方法は無からうかと言はれたから、イヤそれは違ふ、其の貨物自動車や荷馬車は皆な諸君の日用品を運んで居るのだ、それが通らなかつたなら諸君は必需品にお困りでせうと言つて話したことがある。近頃の街路は人道車道の區別も出來て、交通の整理もされて居るし、通行者に不快を感じんやうな施設もあるけれども、此の街路を利用する貨物の意見をも徴して、積極的に道路改良をやつて貰はなければ其實を擧げる事は出來ぬ。

先達て農商務省に馬政委員會といふものが出來た、馬と道路とは大關係のあることですが從來は馬匹を拵へる事ばかり考へて、馬匹を利用する方の意見は加はつて居なかつた。我國には百五十萬頭の馬があつて、内陸軍の馬が四萬頭、競馬が千頭、運送専用馬が三十七萬頭、其の残りが農耕馬ですが、此の内には運送兼用馬も澤山ある。然るに今までは此の四萬頭の軍馬の爲に陸軍の馬政局があつて馬政を掌つて居つて、經濟上の見地から四馬匹を利用する方の意見を聽かなかつたが、既に馬政々策も農商務省に移り、これからは大いに利用方面の意見を聽かうといふ事になつて私も委員になりましたが、此の馬政に就ても東京市の如きは市中に厩舎を置くことを許されないと、其の許されない理由は衛生上悪いからといふので、一萬四五千頭の馬をドン／＼郡部に逐ひやつてしまふから一里半乃至二里半の道を朝夕通つて居る譯で、一面から言ふと非常な無駄に往復して道路を壞はして居る譯である。がこれ等

とても市内適當な土地に地下室既舎を造るなり、或は停車場の貨物倉庫やホームの上に二階三階の鐵筋コンクリート既舎を造つても、衛生上の設備は如何やうにも出来る、さういふ經濟的の政策詰り利用する方の側の意見をも徴して貰つて、道路政策とも相俟つて進みたいものである。

斯ういふ問題はすべて陸上運送の監督官がやるべき仕事で、昔は交通省であつた遞信省に其の監督官があつた、それが官私鐵道の發達と共に鐵道が線路だけ持つて分離して鐵道作業局といふものが出來た。今や官私鐵道を併せて一萬哩にも達し、官鐵の貨物運賃の收入一億七千萬圓、私設鐵道では千六百萬圓の收入であるが、小運送の賃金は大約二十億乃至三十億を要して居るが、之れが組織的に行はれて居ないのは國家政策の上に大なる缺點であると考へる。先に後藤子爵が復興院總裁になられた時、復興計畫を立て、序でに道路を一つ好くしたいが金がかゝつていけないといふ事を喧ましく言はれるが、運送の側の意見を聴きたいといふことであつた、私はそれに答へて、それは晴易い事です、荷物に物を言はすことを考へて、其の不平を少し聴いてやつたら、道路は一遍に出來ませう、これは算盤の問題で感情の問題ではない。どうか荷物に代つて扱つて居る者からの意見を聴いて貰ひたいと言つて笑つたことがある。幸に道路改良會は水野會長の御盡力で逐次發展して來て居るといふから、私共も何かお手傳ひも致しませうし、又考へて居る事も時々御參考に供したいと思ふが、要するに道路は經濟上どういふ働きをして居るか、といふ事を國民一般に知らしめると同時に、道路を使つて壞はす、それも經濟上なら結構であつて、壞はれるから使はせないといふやうな政策は誤つて居りはしないか、といふ感を有するのであります。(十月十一日)